

平成 27 年度 第 17 回東北地区国立高等専門学校 技術職員研修 参加報告

技術第 2 班 遠藤 健太郎

1. 目的

本研修会は東北地区の国立高等専門学校に勤務する技術職員に対して、その職務遂行に必要な一般知識及び新たな専門的知識、技術等を習得させることにより、技術職員としての資質向上を図ることを目的とする。

2. 期間

平成 27 年 8 月 24 日(月)～8 月 25 日(火)

3. 会場

福島工業高等専門学校 3 階 大会議室

4. 日程

<1 日目>

- 9:20-9:30 開講式
- 9:30-10:30 講演
「福島高専の地域復興
人材育成事業」
講師：青柳 克弘 教授
- 10:30-12:30 業務情報交換会
※発表 5 分、議題討議 10 分
- 12:30-13:20 昼食休憩、学内見学
- 13:20-13:30 記念撮影
- 13:30-16:00 技術課題の発表と討議
※発表 15 分、質疑応答 5 分
- 16:00-17:00 講義
「市民大学における
防災・減災教育について」
講師：菊地 卓郎 准教授
- 18:00- 情報交換会

<2 日目>

- 9:00-12:00 施設見学
「小名浜港湾見学」
- 12:00-12:10 閉講式

5. 研修会に参加して

1 日目では、はじめに青柳教授による地域復興人材育成事業の取り組みや導入した設備等のご紹介をして頂き、福島高専の教育・研究内容の一端を知ることができた。社会的な面では平成 23 年の震災以降より、原子力発電所の事故終息のため、放射線や原子炉に関連する知識を有した新規の実践的技術者や減災都市システムを構築できる技術者の需要が多い等、復興に関する動向の知見を広げられた。また、同日に行われた菊地准教授の講義では、事例を挙げた防災・減災教育を拝聴し、災害に対する日頃の意識や直面時の行動の仕方等について勉強・考えさせられる良い機会となった。

業務情報交換会では各高専からの議題を元に討議を行った。高専によって、専門が異なる実験実習へ参入した支援体制もあり、本校の体制を考える上で良い参考となった。

技術課題の発表と討議では、発表者として参加した。各高専の地域貢献・公開講座に関する発表も拝聴でき、今後の自身の取り組みに活かしたいと考えている。

2 日目においては、陸と船上より小名浜港湾の見学及び歴史や周辺状況、復興事業等について見聞できた。また、復興事業の一つで、新設中の東港地区国際物流ターミナルの見学は内部構造も観察でき、印象的で開通後に訪れてみたいと思った。

6. おわりに

本研修会を開催するにあたり、準備から運営まで行って頂いた、福島工業高等専門学校モノづくり教育研究支援センターの皆様へ感謝を申し上げます。本研修会で学んだことを自身の業務や学生指導等に活かせるよう努めていきたい。